

あいちの印刷

4

2009.4
No.449



北アルプスと桜

もくじ

巻頭言 「ピンチはチャンス」 / 組織・共済・労働委員会 猪飼重太郎	3
中部地区印刷協議会下期会議 分科会・理事長会報告	4
中部地区印刷協議会下期会議 業態変革実践プラン勉強会	8
愛印工組 3 月期臨時理事会	10
第8回「印刷産業環境優良工場表彰」応募要領	11
身近な催し物のお知らせ	12
グリーンプリンティング認定工場 第12期認定受付中	12
不況対策支援事業 / 新刊書紹介 / 事務局だより	14

巻頭言

「ピンチはチャンス」

組織・共済・労働委員会 委員長 猪飼 重太郎

3月で、いつもなら定時で終わらないぐらいの仕事に追われて忙しい時期なのに、一向に印刷物の受注量が上向いて来ません。異常な事態です。

もっとも、客先の仕事量が通常の5割6割では仕方のないことなのかと諦めざるを得ないのですが、深刻な厳しさが切迫している今日この頃です。

組織・共済の委員長を務めさせていただいて3年目を終えようとしていますが、瞬く間の3年間でした。

組合員皆様の協力で保険の加入も少し増え会員交流も何とかと思っている矢先に、このアメリカ発の不況の嵐にはなすすべがありません。会員の減少を最小限に止めるべく工夫をしなければと痛感しています。

今年の新年互礼会は例年の会場とは違い名古屋国際ホテルで、形式も立食からテーブル席に変更いたしました。会場がいつもより少し狭く大丈夫かと心配したのですが、当日は最後まで参加者の方々がお帰りにならず、大変盛り上が

った様子に関係各位の皆様のご尽力に感謝いたす次第です。

これからも工夫をしながら、会員交流も含め実り有る行事を行いたいと思います。

また保険においてもこの時期だからこそ、現在加入している保険を見直されてコストの低減化や最適な保障の備わった保険に組み替えるのも一考かと思えます。

私事ですが、自身が昭和50年に社長になったその年、被災し工場を全焼しました。建物も設備も一瞬のうちになくなりました。保険もわずかしか入っておらず、資金に苦労した記憶があります。

昨年の豪雨においても、何社かの方々が被害にあい、保険の恩恵を受けられました。

是非この機会に見直しをされることをおすすめします。多種多様な保障の保険が組合にあります。印刷組合の保険は経営者にも従業員にも有効なプランが用意されております。ぜひともご検討下さい。

OLIVER496SD

菊全判4色
印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン

最新自動化設備 完全装備



最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-2551(代) FAX.(0575) 35-2681

大阪営業所
〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-6-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146



2月20、21の両日、中部地区印刷協議会下期会議がキャッスルプラザで開催されました。先月号に引き続き分科会・理事長会報告を紹介します。

経営革新・マーケティング委員会 教育・労務委員会
環境委員会 組織運営委員会 共済事業委員会
理事長会 全印工連からの総合コメント

経営革新・マーケティング委員会
出村 明副委員長（石川県工組・常務理事）



委員会では、まず部会活動についての報告を受けました。マーケティング部会、印刷産業ビジョン部会の二つの会からですが、高付加価値化をテーマにしたプレゼンテーションを行っているとか、近未来の印刷の姿の研究を行っているとのこと、部会からは平成20年度末と21年度末に報告書を出していただくことになっております。

平成20年度経営動向実態調査ですが、組合員数7,000社弱のうちの1,500社のアンケートを行った結果、450社ほどからの回答がありました。損益分岐点を意識した経営をさせていただき、自己資本比率ですが、アンケートからは37%という優良な数字になっています。しかし、実際はアンケートに回答している会社自身が優良企業だということも推察できるので、決してこれがすべての企業に当てはまるものではありません。また、31.8%が欠損

企業となっており、依然として厳しい経営環境だということがわかります。

原材料価格高騰対応緊急保証制度、セーフティネットについては年度末をもって期間が終わるわけですが、4月以降も3か月に1度、業種を見直していくということで、理事等から景況感のアンケートを取りながら要請していくことになっています。資金に余裕のあるうちに、この制度を利用していただきたいと思っております。

印刷用紙等の諸資材の値上げについての各県の対応ですが、岐阜県からは、値上げを頼んでも、なかなかそれを呑んでもらえないうちに「紙の値段が下がった」との新聞報道を受けて価格を下げるように要請されたという報告がありました。また、岐阜では不公正取引対策委員会を組合に設け、理不尽な要求には組合として対応しており、効果を挙げておられるとのこと。

愛知県では、三役が公取に調査の申し入れをされたと聞きました。同県では高井理事長からの売上対経常利益率5%確保の指導を受け、組合員がその数字を目指して努力しておられるとのこと。そして、こういう時代なので、健全な事業継承や健全な廃業も意識する必要があります。

富山県では、紙の価格に関しては個々の企業で対応していくしか方法がないのではという意見が出ていますし、それは各県共通だろうと思います。また、売上はなかなか

期待できないので、与信管理や債権回収に注力しています。担当者だけにそれを任せていても、なかなか良い結果には結びつきませんが、会社としてそれに対応していくことにより、少しずつ効果が出てきているようです。

最後に当委員会の田中委員長（石川県工組副理事長）から「印刷はこれまで複製技術を主とした仕事としていたが、そこから脱皮していくことを考えねばならない。これからは買う側、ショッピングをする人の視点に立ってマーケティングを考えていく必要がある。それによって、価格競争から脱却できる」という意見が出されました。

教育・労務委員会
大村一史委員（石川県工組・常務理事）



オフセット印刷作業技能検定について、かなりの時間を費やして協議しました。技能検定は、昨年、1級は371名が受験し199名が合格し、2級は424名が受験し202名が合格したわけですが、県によって数にバラツキがあり、技能検定委員の研修の実施を来年2月頃に行おうという話がありました。それぞれ県の事情が違い、例えば、東京は印刷機メーカーのショールームに受験者が集まり行われているわけですが、近県の神奈川県には検定を受けるような共通の場所がなかなかないので受けられないということで悩んでおられます。北海道は職業訓練所的なところに印刷機があり、そこで実施しています。印刷機も新しいものも古いものもあり、2色機を使っているところとか、連続給水ではあるがマニュアル機で検定しているところもあります。また、最新鋭の自動刷版交換装置が付いていたりフル自動化機で検定を行っているところもあります。そういうことからハードの面でかなりの差があるので、自ずと検定委員の審査基準もバラツキが出てまいります。検定は職業能力開発協会の国家資格の委託業務です。印刷以外に130種ほどが委託されています。印刷の検定はフィルムから刷版をつくって実施していますが、それをCTPに変えようという話もあるのですが、抜本的にやり方を変えるのは時間がかかります。そのために、変更しようとしてもなかなか進まないという報告がありました。

環境委員会
細井俊男委員長（愛知県工組・副理事長）
グリーンプリンティング認定取得とインターネットを



利用したISO14001認証取得については、今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。

カーボンフットプリント制度については、実際にはどういものなのかがなかなかわかり辛い部分があります。但し、環境省としては確実に進めてまいります。印刷業自体がその流れに追いついていないように感じます。我々が勉強して組合員の皆様に知らせていかないと、業界が乗り遅れてしまう可能性があります。このカーボンフットプリント制度は二酸化炭素の算出方法が難しく、その辺りを危惧します。

東印工では、組合員の環境アンケートを取られたそうです。その結果は思ったよりも良くなかったとのこと。廃液を下水に捨てているという回答もありました。愛知県も2月にアンケートを実施しました。各県とも現状を把握していただくことが一番かなと思います。各企業が地道に環境対応を進めていく必要があるように感じます。

いずれにしても、環境対応の流れに乗っていかないと、印刷業界が飛ばされてしまう可能性もあります。印刷物よりもCDやDVDを選択されてしまいかねませんので、我々は驚異に感じて勉強していかなければならないと考えます。

組織運営委員会
楠 行博委員長（富山県工組・常務理事）



全印工連では、今年も組合員が167社減っております。各県工組はどういう努力をしているかということ、広報活動を強化し、セミナーを盛んに行い、組合費を安くしたり、共済事業を展開して資金を運営費に充てようとか、支部活動を活発にしようとか、全国大会の時に活動していない人を参加させようなど、いろいろなことをしています。

富山県では、最後の賭に出ました。アンケート調査を実施したのですが、この調査は送って回答を求めてどうだったかという形ではなく、私たち役員が手分けして全

KONICA MINOLTA

プリンターの生産性と低コスト

- A4/51枚 1分当り**
A4フルカラーを最大51枚(A4)/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。
- 多用途紙対応**
近似した再現性と多彩な用紙での出力。画像・文字再現に忠実なカラーブルーが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。
- A3 Wide**
A4トンボ付を2面付の出力サイズ。印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。

プロフェッショナル新潮流 デジタル化によるスキルレス時代の到来

重合法トナー
高い画像・文字品質を実現
一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。

再現性



Pagemaster Pro
ハイクオリティカラーレーザーブルー

ブルーナーの実用性と再現力

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社
本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 TEL.03-5297-5602(代)
名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋ビル10F TEL.052-231-6277(代)

組合員を回りました。そして、アンケートという名目で、皆様の意見を聞きました。まず、組合活動をどう思っているのか。不満があるのかないのか。現状はどうだ。後継者はいるのか。デジタル化はどこまで進んでいるのか。中期経営計画等々を立てているのか。2008計画への理解は。富山県の組合活動をどう思っているのか。どういう事業に参加しているのか。参加しない理由は。このようなことを質問形式で聞きました。この目的はアンケートを取ることはありません。何を考え、どういう認識でおられて、更には5年後の組合がどうなっているのかを探ることが目的でした。要するに、組合を抜本的に考えてみたわけです。もう一つ、次の理事候補、青年印刷人協議会に入られる人たちを探すことも目的でした。これは各社を回れば、雰囲気等でわかります。それを1年がかりで行い、その結果がようやく出ました。

結論を申しますと、業態変革は我々の世代では難しいので、若手に切り替わるべきだと考えています。例えば、私も理事として全国大会に出席したり地区協議会に参加しなかったら、「業態変革実践プラン」の冊子も読まなかったと思います。富山県は若手に任せます。アンケートから理事候補と青年印刷人協議会の候補者もピックアップしました。その人たちを中心に業態変革を推進していただきます。鹿児島大会の時、パネルディスカッションが行われました。そのDVDをいただきました。ダビングして若手グループと理事会で見ます。共感して業態変革をやりたいなと思った人はテキストに従って実践してもらいます。そういう形に切り替えようかなと思っています。小手先ではなく、根本から変えるべき時が来ているように感じます。

アンケート結果を見て、私は所感を書きました。それを読み上げさせていただきます。

「アンケートによる組合員の皆様との対話で感じることは、思いに差があるということです。組合員は寿司が食べたいのだという思いがあります。それなのに、組合は寿司の食べ方しか教えてくれないと言われます。組合は寿司の食べ方を、素材を提供しますから、各自で握って下さい。また、握る修業をして下さいと言っています。そして、組合員からは、その資料もテキストも見ないで組合にいてもメリットがないと言われます。毎日、業務が忙しくて修業する時間がないとも言われます。全印工連は言います。忙しいから何もなくていいのですか。変わらなくていいのですか。業態変革なくていいのですか。富山県印刷工業組合は1度は寿司の握り方を指導して食べられるような研修をしていきたいと思えます。それでも、研修参加者がいなければ諦めますが、青年印刷人協議会を中心に必ずや業態変革をしていただけると信じています」

富山県工組では、状況分析をして、次の世代を担う若手に譲っていききたいと考えています。

共済事業委員会 畠山三恵子委員長（三重県工組・専務理事）



共済事業委員会で話し合ったことは、共済キャンペーンの推進状況についてです。5県からの報告をさせていただきます。石川県は1社70名の社員を抱える組合員が加入していただけたそうです。富山県は現状維持で、今年は更に細かく回るとのことです。岐阜県は保険会社に経営者をお願いしたらどうかと提案し、その形で回っていただいている中で、保険会社は設備共済に興味があるとの声を聞いたそうです。三重県も現状維持ですが、設備共済については極端な意見を聞いています。1社は設備共済のおかげで災害被害を持ち直せたという意見で、もう1社は事故を続けて2回やったが設備共済からのお金が不満だったので組合を脱退したいという意見です。私としては、こういう景況の中で設備共済は企業にとって非常に大事な制度だと思っています。愛知県は白井前理事長と高井理事長の指導で共済事業の手数料で財政を立て直すことができたとのことで、21年度は設備共済に力を注がれるようです。

いま、どの企業も景気が悪くて経費を見直し削減していこうという姿勢になっていると思うのですが、その中で共済事業委員会としては設備共済への加入を斡旋していきます。昨年、全印工連にお願いして共済制度のパンフレットを作成していただきました。皆様方もそれを読んでいただき共済制度の意義や利点を理解し、組合員の皆様にそれを啓蒙していただきたいと思います。

理事長会 塚本征也理事長（三重県工組）



各県工組からの報告ですが、愛知県は業態変革実践プランの説明会を名古屋と豊橋の2会場で開催し、また而立会でも説明を行うということでした。愛知県では緊急アンケート調査も実施され、助成金説明会や不良債権取

り立てなどの勉強会も開かれるそうです。そして、幸せな事業継承や幸せな廃業の勉強もしていかれるとのことです。愛印産連には19団体が加入しており、コラボレーションして事業の統合ができるところは共催にして効率化を図る運動を進めているそうです。

石川県は橋本副理事長から報告をいただきました。他県同様に組合員が減っており、170社加入していた組合員が112社、3分の2に減少したとのこと。石川県は雇用促進の事業途中で、あと1年間頑張っ続けていけます。

三重県も廃業等で組合員が減っており、収支が大変に厳しくなっていますが、きちんとした組合運営ができるように頑張っていこうと考えています。

富山県は須垣理事長から報告がありました。以前から平版会という会があり、そこで勉強会を開いておられま

全印工連からの総合コメント 武石三平専務理事

メディアユニバーサルデザインのガイドラインを発刊しました。MUDのつくり方とか、色の配合、そういったものを載せたガイドラインです。印刷会社は色を扱いますが、これまでは健康者向けの色デザイン、レイアウトで印刷して納めていましたが、色覚障がい者も大勢おられます。身体が人並みだと当たり前の世界ですが、障がいのある方には大変に住みにくい環境になっています。そういう意味から、印刷業界は色を通じて少しでも安心して安全な印刷物を提供する必要があります。印刷業界としてMUDに取り組んで2年目になります。スタートは青年会の方々の社会貢献しようという思いからでした。それを引き継いで、全印工連が全国事業として取り上げて2年目を迎えました。特に、社会貢献がこれから非常に大切な事業となってまいります。そうはいっても機械を入れ替えたりということになると資金を必要としますので、いまある設備、いまいる人でできることを考えます。色の組み合わせを少し変えたりということで、とても素晴らしい印刷物ができます。自治体もそういう事業に取り組んでいますので、印刷会社から自治体に提案していただきたいのです。それを官公需に繋げていくわけ

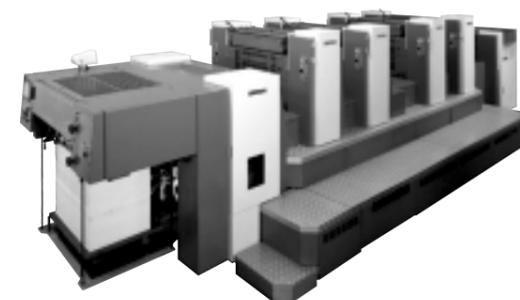
す。年が明け、2月はやはりマイナスになっているそうです。そういう中で聞こえてくるのは、用紙の値上げをお客様に転嫁できないという現状ですので、用紙の値戻しを全印工連にリーダーシップを取っていただき要望してもらいたいというものです。また、役員が手分けして各社に面談に行き、意見聴取をされました。その間、市町村合併で得をしたのは県工組の大手だけで、小さな企業は受注もできず大変だという苦情もあったとのこと。大変にきめ細かな現況調査をされ、それを今後の組合運営に反映されるようです。

岐阜県では、新たに、不公正取引対策委員会と広報委員会をつくられました。不公正取引に関しては顧問弁護士も雇われて対応をしておられます。平成22年に開催される岐阜の全国大会には、地区協としても支援させていただきます。

です。すでに成果を挙げている工組もあります。官公庁に働きかけ、それを取り上げてもらえれば、印刷業界も社会貢献していることが認められます。また、官公庁との繋がりも出てまいりますので、ぜひお願いしたいと思います。

環境委員会から東印工組の話が出ました。東印工組は、東京都の中で印刷業は地場産業ということで、一番数の多い中小企業の団体です。いろいろな情報も入ってきて、そういう面では優遇されているのですが、各社の環境への対応の実態を委員会が調べたところ、インキの空き缶は残肉が付いたまま出しているとか、廃液を下水にそのまま流すという結果が出ました。もちろん、本人が承知の上でやっているケースと、知らずにやっているケースがあると思いますが、区や都の調査が入ったら正命令が出るような結果でした。それも一部の組合員ではなく、相当多数の組合員がそういう処理をしています。東印工では、地場産業ナンバーワンと認められている工組がこんなことでは大変だということで、違法を認識して処理しているのかどうか、その辺りも含めて環境問題に対して周知・啓発していきます。法律に違反せずに経営していく必要がありますし、組合はその指導を行っていかねばなりません。

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA
75 VHP

篠原商事株式会社 株式会社 篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022
TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

中部地区印刷協議会下期会議において、業態変革実践プラン勉強会が開催され、愛知・三重・富山の各県工組から事例が紹介されました。

三藤印刷(株) / 千巻印刷産業(株) / 山田写真製版所 (今月号では、三藤印刷(株)の業態変革実践プランを紹介します)

趣旨説明

全印工連業態変革推進企画室・鳥原久資委員

2010計画のポイントは、「ワンストップサービス・ソリューションマップ」です。印刷を軸にして、左に川上、右に川下があり、その中から、自分の会社で現在お客様にサービスしていること、できることをチョイスします。そうすると、自分の会社の強みがわかってきます。そして、お客様の立場に立って、「この部分をプラスすれば、こういうサービスが発生する」「この部分をコラボレーションして協力会社をお願いすれば、こういうことが事業として展開できる」と実践していくためにマップを使っていただきます。会社全体としては、営業戦略の一つとして、いろいろな展開の仕方が想定できます。但し、大事なことが一つあります。お客様の立場で考える時、一番大事なものは、お客様が望むものを聞き出すコミュニケーション能力なのです。営業のコミュニケーション能力が非常に問われるので、その研修やスキルアップを会社で行うことをお勧めします。

これから三つの事例をお聞きしますが、まず三藤印刷(株)の後藤氏からは、G段ボールへのUV印刷についての

事例が紹介されます。これは協力会社として生産する立場として業態を変えられたケースです。千巻印刷産業(株)の塚本氏は、子育てタウン誌の発行事例。そして、山田写真製版所の石崎氏からは、製版会社から印刷会社への業態変革事例の紹介をしていただきます。皆様には、三つの会社が元のビジネスモデルをどう変えてきたか、元にあったビジネススタイルを現在のスタイルに変えていく過程をきちんと認識してお聞きいただきたいと思えます。また、変化していく上で、会社の現状をどう変革してきたかもポイントとなります。そして、最も重要なのが経営者のメンタル面です。経営者の思いがどこまで強いかが、これらの視点で話を聞かれると業態変革事例がわかりやすいと思えます。

業態変革を進めていく上で大切なのは、お客様の向こうにいる消費者がどんなに便利になるか、そういう視点で考えることです。そして、「自社と協力会社でやることは何か」「お客様の悩みは何か」「将来予測」の三つの視点で考えて、ソリューションマップを使うと、業態変革を進めていけると確信します。



業態変革実践プラン

UV印刷へのチャレンジ 諦めずコツコツできるまでやり続ける

三藤印刷(株)
後藤 規之 社長

恒温恒湿の工場環境を整える

いまから7年ほど前、私は印刷業の経営に危機感を抱きました。商業印刷物、チラシはどうなるのが不安でしたし、オフセット輪転機の増強、近隣の印刷会社の枚葉機の増設があり、そこからは必然的に価格競争が生まれてきます。このままで、将来も印刷業をやっているのかと悩んでいたことがUV印刷スタートのきっかけに

なりました。機械メーカーやインキメーカーの話を聞いて、「チャレンジしてみようか」という段階に至るまでに2年半くらいを要しました。

実際にスタートすると、いろいろな問題が出てきました。まず、工場環境をきちんと管理しないとトラブルばかりになってしまいます。湿度は60%、工場内温度25を365日24時間維持しなければなりません。夏はまだい

いのですが、冬はユボやアルミ蒸着紙を外に10分も置いておけば表面温度は10℃を切ってしまいます。こうなるとUVでも乾かないので、工場環境を見直しました。そこからスタートして、恒温恒湿の環境をまず最初に整えました。それから、機械と機械の間を整理することで、一方通行の作業ができるようになりました。これによって、混入事故とか印刷物が衝突することもなくなりました。

色評価のために高白色・高演色の照明

次に色評価のために照明を整備しました。死角ができないように、逆八の字に照明を配列しました。死角がないので、どちらから見ても正しい色評価ができます。色温度は5,000ケルビンを維持するために、高白色・高演色性の照明を工場内に138本配列しました。工場内では、どこで印刷物を見ても色の変化はありません。そこまで整備しました。

被印刷物が厚紙なので、湿度の影響をまともに受けまです。冬は反って印刷できなくなり、夏は水分を吸い過ぎて乾燥不良を起こします。そういう保管の難しさがあるので、厚さは1mmからあり、1パレットに1,000枚くらいしか積めないで、平台の状態150パレット置ける紙倉庫を隣接しています。

UVローラーは、非常に湿度を嫌うので、特別に湿気が当たらないような場所を確保し、すぐにローラー交換ができるようにして印刷にかかりました。

G段ボールの出荷量、年率約20%伸び

G段ボールという1.15mmの紙があります。色は50色あり、G段ボールはリサイクル費用が発生しません。両面とも色を選択できるので、赤ワインの箱であれば、中も赤にすることが可能です。別寸対応も迅速です。コート・ボールで別寸の紙を頼もうとすると、非常にスパンを長く取らなければならないし、ある程度大量に注文しなければなりません。G段ボールメーカーは毎回、別寸対応してくれます。私どもが一番少ない数で発注したのは500というロットです。500枚の別寸も発注してから3日後に入ってきました。合紙作業が不要であれば、1週間で箱ができ上がります。自社では、1時間に8,000回転でG段ボールを印刷していますが、この回転数を今年中に9,500回転までにすることが私の目標です。G段ボールの出荷量は年率約20%伸びています。工数の削減により、製造コストが下がりました。自社の受注量は対前年比で30%アップです。

弊社は下請専門の印刷会社で、お客様は印刷会社、製版会社等です。下請の印刷会社はルートがほとんどでき上がっているため、新しい顧客を探すとすると、現状の印刷物以外の方向へ行くのか、エリアを広げて東京や大阪へ進出するのかがということになります。私は印刷技術が好きで、それにこだわっていく主義なので、思い切って名古屋であまり導入されていないUV印刷にチャレンジすることにしました。

総務省統計局

「平成21年経済センサス 基礎調査」の実施
全ての事業所及び企業が対象

総務省統計局では、新しい経済調査を平成21年7月1日に、「平成21年経済センサス 基礎調査」を実施します。この調査にあたり次のような協力依頼を行っています。

「この調査は、統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査として、事業所及び企業の活動の状況を調査し、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることなどを目的とし、これまで行われてきた事業所・企業統計調査やサービス業基本調査などの大規模統計調査を統合して実施するものです。調査は、全国全ての事業所及び企業を対象としており、この結果に基づいて作成される統計は、国や地方公共団体の経済政策や雇用政策などの各種行政施策の基本資料として幅広く利用されます」。

総務省統計局では、「主旨、必要性を理解の上、協力をお願いします」としています。

看板を上げた以上、下ろすことはできない

正直申し上げて、機械を入れてから1年間はほとんど印刷できませんでした。その時、オペレータが、「社長、もうやめましょう」と言ってきました。私は「1年でダメなら2年かかってもいい、2年でダメなら、3年かければいいじゃないか。とにかく、『UV印刷を始めました』という看板を上げた以上は、下ろすことはできない。刷れるようになりなさい」と社員を激励しました。それから3人のスタッフが必死に努力して、半年経ち、1年経つうちに実を結んできました。1年で刷れるようになったので、弊社はラッキーだったのかも知れません。そういうスタッフが周りにいてくれたことも私の幸運だと思います。

変革を進める時、最終的に経営者自身が「もうやめた」と言ったら、お終いです。UV印刷が5年後、10年後まで続けられる商売なのかどうかは私にはわかりません。ただ、私の会社はこの新しいUV印刷にチャレンジしたことにより、3年間で14社の新しい顧客が生まれました。この14社の工賃だけで年商の約3分の1を占めます。UV印刷をやっていなかったら、おそらく私はここには立っていなかったと思います。

また、1mmのパッケージ印刷を成功させれば、半分の0.5mmや0.6mmの印刷は簡単にできます。だから、最初から1mmに取り組みました。他社のやらないところに目をつけて、それができるようになるまで諦めずにコツコツとチャレンジしたことが自社の現在を支えている一番の原因だと考えます。とにかく、諦めないこと、できるまでやり続けること、それが新しく生まれ変わる最大のポイントだと思います。

愛印工組3月期臨時理事会

(株)メイセイプリントの加入を承認 印刷会館の協組からの譲受を議決



挨拶する
高井理事長

平成21年3月12日(木)、平成20年度3月期臨時理事会が38名の出席(うち書面出席17名)により開かれました。

当日はまず、愛知県印刷協同組合(白井統一代表理事)の臨時理事会が正午から開かれ、愛知県印刷会館を工組に譲渡することを承認。引き続いて、午後2時から愛知県印刷会館3階・会議室において愛知県印刷工業組合の臨時理事会が開催され、冒頭、挨拶に立った高井理事長が次のように述べました。

「本日、臨時理事会を開催させていただき運びとなりました。決めていただきたいことは、愛知県印刷会館の件です。年度内に処理したいので、皆様方にお集り願った次第です。議事に入る前に、工組として最近、行ったことを説明させていただきます。2月期理事会で皆様に承認していただいた緊急対策事業を名古屋で1回、豊橋で1回開催しました。本日は名古屋で2回を予定していたのですが、応募数が少なかったため、光文堂の会議室を借りて実施しました。これは今後も引き続き行っていくべき事業だと考えています。各支部で希望があれば、講師に出向いてもらい説明していただくことも可能なので、検討をお願いしたい。法律相談、労務相談については、1時間までは費用を組合が負担します」。

このあと、高井理事長が議長を務めて、議案の審議に入りました。

議事では、まず最初に、(株)メイセイプリント(渡辺敏夫社長/西支部)の組合加入が承認されました。

次いで、愛知県印刷会館の件について、村瀬誠専務理事が「2月の理事会において、愛知県印刷会館を協同組合から工業組合が譲受することを決議していただきました。それに基づき、弁護士、司法書士、税理士の方々と相談しました。その結果、持ち主が建物の譲渡を決議し、それを受けて工組が決議するという手続きを進めるべきだと指示されたので、本日、正午より協組の臨時理事会を開催し、会館を工組に譲渡することを承認、いま工組の臨時理事会を開催するに至っているわけです。それが決議されれば、速やかに手続きを進めて参ります。」と説明。高井理事長が議決を諮ったところ満場一致で、協組から工組が建物を譲受することを承認しました。

続いて、今後の事業予定が決定しました。

今後の事業予定

平成21年度4月期理事会

日時：4月20日(月)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館

平成21年度総代会

日時：5月20日(水)午後4時、会場：名古屋観光ホ

テル、午後3時から工組理事会が行われ、午後6時から工組・協組合同懇親会が開かれる
平成21年度中部地区印刷協議会上期会議
期日：6月19日(金)・20日(土)、会場：ANAクラウンプラザホテル富山
7月期支部長会・理事会
日時：7月17日(金)午後3時30分、会場：愛知県印

刷会館
9月期持出理事会
期日：9月4日(金)・5日(土)、場所：調整中
12月期支部長会・理事会
期日：12月4日(金)、会場：愛知県印刷会館
平成22年新年互礼会=期日：平成22年1月13日(水)、会場：名古屋東急ホテル

(社)日本印刷産業連合会

第8回「印刷産業環境優良工場表彰」応募要領

締切日は5月29日(金)

(社)日本印刷産業連合会が、印刷企業の環境問題への取り組みを促進し、印刷工場の改善及び印刷企業に対する社会の一層の理解と、我が国印刷産業の振興を図る目的で実施している「印刷産業優良工場表彰」の募集要領が発表された。

応募資格/日本印刷産業連合会の会員団体傘下企業で、印刷及び印刷加工に関わる工場。1企業につき1工場の応募とし、工場稼働後3年以上経過していること。

応募の手続き/所属する会員団体を經由して応募する。応募方法は、所定の書類を正1通、副2通(コピー可)提出する。応募書類は、原則としてWebなどで作成する。

*応募書類は、日本印刷産業連合会ホームページからダウンロードできる。<http://www.jpfi.or.jp>
応募期間/平成21年3月9日(月)~5月29日(金)
表彰の種類/経済産業大臣賞、経済産業省商情情報制作局長賞、(社)日本印刷産業連合会会長賞、(社)日本印刷産業連合会奨励賞

審査方法及び審査基準/書類審査及び現地調査(必要に応じ)。審査基準は、1)工場の周辺環境及び作業環境など、工場内外の環境改善の状況が同業種内の他の工場に比較して高水準にあること。又は、近年における環境改善が著しいこと。2)広域的な環境対策が、同業種内の他の工場に比較して高水準にあること。又は、近年における環境改善が著しいこと。3)環境管理体制が整備されており、環境対応が明確に企業経営の中で位置付けられていること。4)環境対応が企業経営の上で、具体的な効果をもたらしていること。

表彰式/日時：平成21年9月16日(水)、会場：ホテルニューオータニ(東京都千代田区)

*「2009年印刷の月・記念式典」にて表彰
問い合わせ先/(社)日本印刷産業連合会環境表彰担当 〒104-0041東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館内 TEL03-3553-6051 FAX03-3553-6079 又は、所属団体事務局

62トンの実力。印刷機の歴史を塗り替えるSpeedmaster XL 105。



ハイデルベルグ・ジャパン株式会社

名古屋支店 〒453-0855 名古屋市中村区烏森町4-74 TEL(052)486-7556
www.jp.heidelberg.com/

HEIDELBERG



高機能化された東洋インキの製品群
きっと大きな利益を約束します。

見極めろ! 目が大切です。

イメージ&インターフェース
i&i 東洋インキ

本社/東京都中央区京橋二丁目3-13 TEL03(372)5731
中部支社/名古屋市東区徳川一丁目901番地
サンエース徳川1F TEL.052-979-7451
名古屋販売/名古屋市東区徳川一丁目901番地
サンエース徳川3F TEL.052-979-7851

身近な催し物のお知らせ (愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
4月20日(月) 12:00~	事業・行事	三役会・4月期理事会
	ところ	愛知県印刷会館
5月20日(水)	事業・行事	三役会・5月期理事会 平成21年度 通常総代会
	ところ	名古屋観光ホテル
詳細調整中		

身近な催し物のお知らせ (関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
4月20日(月) 15:00~	事業・行事	愛知県印刷協同組合 理事会
	ところ	愛知県印刷会館
5月12日(火)	事業・行事	中部グラフィックコミュニケーションズ 工業組合「平成21年度 通常総会」
	ところ	中日パレス
詳細調整中		
5月18日(月)	事業・行事	愛知県印刷協同組合 理事会・総会
	ところ	愛知県印刷会館
理事会 13:00 総会 14:00		
6月19日(金) ~20日(土)	事業・行事	中部地区印刷協議会 21年度上期会議
	ところ	ANAクラウンプラザホテル富山
詳細調整中		



環境に配慮した印刷総合認定制度

グリーンプリンティング認定工場 / 第12期認定受付中

締切日: 平成21年5月25日(月)

(社)日本印刷産業連合会では、印刷産業界の環境自主基準『日産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準』に基づいた印刷認定制度「グリーンプリンティング認定制度」第12期認定受付が始まった(本年3月現在、計153工場がグリーンプリンティング認定工場に登録)。

<認定制度の概要>

グリーンプリンティング認定制度は、日産連グリーン基準(工程及び事業者の取り組み)を達成した工場に対し客観的評価による認定を行うもので、認定された工場は環境優良工場としてクライアントなど社会に対し、幅広くPRできる制度。

<認定制度の特徴とメリット>

公表されている認定評価チェックシートを用い、事前に自己評価ができる。

該当工程の基準の70%達成(一部必須項目あり)で認定を受けることができる(3年間有効)。

GP認定審査員による指導、助言を受けながら認定を受けることができる。追加費用、事前のコンサルタン料は一切不要。

学識経験者、マスコミ、クライアント業界などからなる認定委員会が判定を行うので、信頼性ある制度として社会的に高く評価されている。

認定工場は、その証である「グリーンプリンティングマーク(GPマーク)」を、名刺、ホームページなどに表示することができ、環境経営に積極的な企業として評価される。

オフセット印刷部門の認定工場は、クライアントに対してGPマークを表示した印刷物を提案することができる(GPマークを表示した印刷物は、平成20年9月で5,700万部を超えた)。

ISO14001認証登録工場は、現地審査が免除される。また、GP認定取得後、ISO14001認証に挑戦する工場は、GP認定の環境活動をISO14001に活用することができる。

<認定工場料金>

従業員規模別で定められている。例えば、従業員9人以下の場合、認定申請料20,000円、審査料40,000円、認定登録料20,000円、合計80,000円。10人から19人の場合は、認定申請料、認定登録料は共に20,000円で、審査料が80,000円となり、合計120,000円となる。

その他詳細は、日産連グリーンプリンティング認定事務局 03-3553-6051 URL www.jfpi.or.jp/まで。

同業者のための印刷工場

- ◎ウィンドウズもマックも印刷します!
- ◎シルバーマスターで買物もお任せ!
- ◎印刷から製本まで自社一貫体制!



大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)

幸田工場/額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463
岡崎本社/岡崎市福岡町字南藤六26-6 TEL(0564)51-9027代

http://www.sk2.aitai.ne.jp/ dainichi/ E-mail:dainichi@sk2.aitai.ne.jp

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えます。
3世紀にわたるご愛顧をへげみとして新たな未来へ

- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●その他印刷諸材料



株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区種木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



株式会社 名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL 0568 28-2049



〒462-0854 名古屋市中区若菜通4-18-1

TEL 052/811-8211 FAX 052/811-3011

H.P. http://www.k-inoue.co.jp

E-mail: net@k-inoue.co.jp



napsは、DTPの?に
処方箋をお出しいたします。

DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、ネットワーク対応の度合いを進化させています。
その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォームの現在、ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

株式会社 ナプス

〒466-0058 名古屋市中区白金三丁目7番6号

TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品

名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー・環境対応製品

企画・デザインから印刷・納品までトータルにサポート。
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております。

ハート株式会社 名古屋支店

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-10-18

TEL 052-563-1221 FAX 052-563-1220

e-mail: nagoya_branch@heart-group.co.jp

URL: www.heart-group.co.jp

支店 札幌・仙台・水戸・大宮・東京・中央・新宿・杉並

板橋・浅草・江東・品川・横浜・静岡・名古屋・金沢・京都

大阪中央・大阪東・神戸・岡山・高松・広島・福岡

工場 大阪(八尾) グループ会社 ハート封筒(株) 八尾工場 日立工場



供花・枕花 会員特別価格

～ここを贈る～

※写真はイメージです。

セレモニーホールのご案内 ※順不同

- 昭和三 八事セレモニーホール (光明殿)
- 昭和三 八事セレモニーホール (遍照殿)
- 瑞穂区 新瑞セレモニーホール (安楽寺会館)
- 名東区 平和ヶ丘セレモニーホール (瑞光寺会館)
- 名東区 名東てんれいホール (めいとてんれいホール)
- 中区 大須セレモニーホール (極楽寺ホール)
- 中区 東別院セレモニーホール (洞仙寺ホール)
- 中区 新栄セレモニーホール (洞仙寺ホール)
- 天白区 植田セレモニーホール (平田院ホール)
- 守山区 守山・長久手セレモニーホール (聖徳寺会館)
- 東区 東セレモニーホール (養寿院ホール)
- 千種区 星ヶ丘セレモニーホール (大乗殿)
- 緑区 緑・豊明てんれいホール (みどりふれあいホール)
- 南区 南てんれいホール (みなみてんれいホール)

葬儀費用20%OFF 愛知県印刷工業組合 指定葬儀社

ALL TIME SUPPORT SYSTEM

☎0120-052-091



中日典礼株式会社

名古屋市中区平和2-1-1

URL http://sougi-annai.co.jp

E-MAIL info@sougi-annai.co.jp

不況対策支援事業

緊急支援セミナー、個別相談会を開催

3月3日午後6時より、懶光文堂第一会議室において、不況対策セミナーが開催され、16名が参加しました。この事業は2月期理事会の席上、高井昭昭理事長が「こういう大変な時期なので、組合員への緊急支援としていろいろな助成金セミナーや、弁護士にお願いして不良債権の取り立てなどの相談会を行いたいと思います」と語り、特別事業の開催を諮って承認を得、決議後半月で実施され

たものです。

当日は二部構成で行われ、第一講は春馬・野口法律事務所の野口葉子弁護士が講師を務め、「貸し倒れにしない『債権回収のポイント』」と題して進められました。

続く第二講は名南経営センターグループの今村航社会保険労務士が講師を務め、「不況時に活用できる助成金～中小企業緊急雇用安定助成金～」をと題して行われました。

内容

労働衛生管理について、労働衛生管理法の位置付け、法令順守。法規の適用職場、法令の遵守項目、管理項目別の対策（有機溶剤と特定化学物質、騒音）。印刷職場の改善例/グラビア印刷、オフセット印刷、シール印刷、スクリーン印刷、光沢加工、製本。解説/労働衛生管理の理解、労働安全衛生法、労働衛生管理、作業環境改善、労働安全衛生法マネジメントシステム。労働衛生管理のフローと自己点検表。資料編。

発行/社日本印刷産業連合会・環境委員会労働安全関連研究会

体裁/A4判、116頁

定価/組合員1,500円、非組合員3,000円（いずれも消費税込み）

問い合わせ先：社日本印刷産業連合会 TEL 03(3553)6051

新刊書紹介

「世界の最新印刷技術」

（財）印刷図書館では、Drupa2008から始まる近未来の潮流をキーワードとした単行本「世界の最新印刷技術」2008-2009を刊行した。

本書は、Drupaで提唱された技術動向を総括・集大成し、記録として保存していくことを目的に編纂された。また、将来次々とでてくるであろう、新技術を蓄積し、新たな印刷ビジネスモデルに、具体的に役立たせるためのデータベースとしての役割も付与し、刊行されている。

本書の内容は、第1部 有識者による「最新技術のトレンド」の解説、印刷業界をリードする人達による「新たな技術を経営に生かす心構え」、主要ベンダーが位置付ける「将来の印刷業に伝えたい新技術の考え方」、「Drupa2008で示された技術動向」、印刷図書館主催による「帰国報告会における講演」の要旨、第2部「基調提言・近未来への舵取り」、「Drupa2008出展の最新システム」、「Drupa2008にみる主な出展企業と注目の製品一覧」などから構成されている。

編纂・刊行/（財）印刷図書館
体裁/A4判、本文120頁、無線綴じ。
定価/2,000円（税込み）

問い合わせ先/財団法人印刷図書館
TEL 03(3551)0506

「印刷現場の労働衛生管理」

（社）日本印刷産業連合会では、環境



委員会のもと労働安全関連研究会が中心となって、印刷産業に係わる労働安全衛生について調査研究を行っている。昭和61年に有機溶剤中毒予防規則と溶剤の使用に関する手引書「印刷と有機溶剤 管理のポイントと作業環境の改善」を発行し、その後、改訂版を平成10年に発行している。今回、最近の法改正の状況などを踏まえ、「印刷現場の労働衛生管理」として、新たに刊行した。

事務局だより

4月号がお手元に届くころには、桜も散り、本格的な春の訪れが来ているものと思われます。それにしても今年の桜の開花は早かったですね。

先月号でお知らせしましたように、中部地区印刷協議会下期会議の分科会・理事長会の報告、それと、業態変革実践プランの実例を挙げています。今月号では、三藤印刷さんのケースを掲載しました。変革への迷いがあつた中で、見事に成功されています。是非一読ください。来月号に三重県の千巻印刷さん、再来月号に富山の山田写真さんを掲載予定です。ご期待ください。

あいの印刷

No.449

平成21年4月10日発行

発行人 高井昭弘

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp